

令和4年度



学校だより
10月号

令和4年9月30日

かわかみ

横浜市立川上小学校

横浜市戸塚区秋葉町203-2 電話 811-9345 FAX811-5961

実りの秋に ～かかわり合うことを楽しむ～

学校長 堀部 尚久

澄み渡る空に、秋のすがすがしさが日を追うごとに感じられる今日この頃です。夏休み明けから心配された欠席児童が増えていた状況も元のような落ち着きを見せ、明日から前期後期の節目となる10月を迎えます。

「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」、何をしても活動しやすいこの季節は、学校の教育活動も充実する時期でもあります。多くの作物が収穫期にあることから「実りの秋」とも言われますが、子どもたちにこれまで培われてきたことが、少しずつこれからの日々の学びや生活、様々な学校行事のなかに「育ちの姿」となって表れてくるものと期待もふくらみます。この時期にふさわしい活動、この時期ならではの活動を通して、子どもたちが自らの成長に繋がる自信をもって学びへの意欲の高揚を図りながら、この時期だからできること、この時期だから楽しめることにしっかりと向き合えるよう教育活動を進めていきます。

さて、前期も残すところあと一週間となりました。4月からの学校生活の様子を丁寧に振り返り、これまで取り組んできた学びや活動への価値付けをしたり、課題や努力点、さらにチャレンジしていくことなどを整理したりしながら、後期のめあてづくりに繋がる時間を大切にしたいと思います。

後期が始まるとすぐに、6年生は、延期となっていた「日光・塩谷宿泊体験学習」を実施します。学校を離れて栃木県で過ごす3日間は、雄大な大自然の美しさを肌で感じたり、悠久の歴史や文化に思いを馳せたりする活動、都会では味わえない農家や牧場での作業体験とともに、寝食を共にし、これまで友達と築いてきた仲間意識を実感する集団生活など、学校では叶わない様々な「かかわり」から得られる学びの機会であると考えます。そして、小学校生活でのかけがえのない思い出になるに違いありません。

また、この10月は、6年生に限らずすべての学年が校外での活動を経験したり、あるいは、校外からの特別な指導者としての講師やゲストティーチャーによる「出張授業」を受けたりする学びの機会があります。各学年の例を挙げると、校外での学びとしては、1年生の遠足（金沢動物園）、3年生の社会科見学（神奈川県警）、区音楽会（戸塚公会堂）の実施です。外部講師による学びとしては、2年生の出張動物園（飼育員さんの仕事）、マリノス・サッカーキャラバン（食と健康）、4年生の鎌倉彫体験（日本の伝統工芸）、5年生の芸術フォーラム（演劇・言語文化）の実施です。校外での「学びとの出会い」は、子どもたちの育ちに大きな価値があります。また、読み聞かせや家庭科等をはじめとした、ふだんからかかわりがある保護者・地域ボランティアの方々とは違う「人との出会い」は、それ以上に子どもたちの育ちに大きな価値があるものと考えます。

10月に行うこれらの教育活動には、子どもたちが、「もの」「こと」「とき」「ひと」との多くの「出会い」があります。こうした多岐に渡る子どもたちの「出会い」が「かかわり」となり、さらには「つながり」になることで、本校の教育活動の質の維持・向上やカリキュラム（教育課程）の充実が図られ、特色ある学校づくりの推進になるものと思います。「出会い」から「かかわり」へ、さらには「つながり」へと、子どもたちの意識を拓いていくことを考えるときに大切なことは、「特別な教育活動は、イベントに終わらせない」ということです。教育活動としての「出会い」の機会を学びの過程にどのように位置付けていくかを常に念頭に置き、「事前の学びと事後の学びの在り方を大事にする」という考えの下、意図的計画的に学びづくりを進めていくことに努めています。

10月に続き、11月も、全校遠足や4年生の愛川宿泊体験学習、4・5組の近隣ブロック交流（秋葉小交流会）、パラリンピアンに来校等、校外学習や校外からの講師による学びの機会を予定しています。それらの活動においても、子どもたちが「かかわり合うことを楽しむ」姿を見守っていきたいと思います。「実りの秋」にふさわしい川上の子どもたちの豊かな「かかわり」を楽しみにしています。保護者や地域の皆様方も、子どもたちの活動を支え、見守ることを通して、10月からの子どもの「実りの秋」を楽しみにしていただければ幸いです。